



Title	新年のごあいさつ 第185号
Author(s)	久多里, 文也; 藤井, 睦子; 川人, 優 他
Citation	makoto. 2019, 185, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85519
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 久多里 文也

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを頂き有難うございました。

さて、去年は、災害級の猛暑と自然災害が多発した年でした。豪雨による河川の氾濫で冠水した住宅や、強風にあおられ関西空港連絡橋に衝突したタンカーなど多くの映像がよみがえります。このような豪雨、台風、干ばつや猛暑などの災害は地球規模で相次ぎ、世界気象機関（WMO）は、気候変動の結果としています。地球温暖化が現状のまま進めば2030年にも世界の平均気温が産業革命前より1.5度上昇し、海水面の上昇や昆虫、脊椎動物、植物、サンゴなどの生態系に重大な影響が広がるとしています。

ところで、地球温暖化の原因と指摘されている中に羊や牛、ヤギなどの反芻動物が胃で餌を分解する際にメタンガスを発生させ、その9割以上をげっぷで排出していることが問題になっています。メタンガスの温室効果は二酸化炭素の25倍ほどで、羊一匹が出すメタンガスは年間で18キロにもなるようです。国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）や食糧農業機関（FAO）の報告書によりますと、世界の温室ガス効果の1割以上が農業か

ら、そのうち家畜のメタンガスは4割を占める事から、げっぷを減らす研究も進んでいるそうですが、化石燃料を燃やすなど人為的な影響だけではなく、羊や牛のげっぷを減らさなければならないほど温暖化が深刻化しているようです。

また、感染症では、春頃に沖縄県を皮切りに愛知県や福岡県などで感染が拡大しました麻しんや、2012年～2013年に1万6千人超の患者が出ました風しんが、現在、首都圏を中心に流行しており妊婦が感染した場合の先天性風疹症候群（CRS）の発生も心配されているところです。麻しんは排除状態を維持、そして、風しんは平成32年度までに排除を達成する事を目標としていますが、いずれもワクチンで防ぐことが出来る病気（VPD）で、ワクチンを取り扱う弊社としましても残念ではありません。このような感染症の予防を弊会の公益事業であります防疫に関する相談や、防疫思想及び防疫知識の普及啓発事業を通じまして、少しでも皆様方の健康で快適な暮らしにお役に立てますように努めてまいりますので、本年も変わらずご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今年が、皆様方にとりまして素晴らしい年でありますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

藤井 睦子

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから本府の健康医療行政に格別の御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、7月頃から首都圏を中心に風しんが流行し、府内でも、わずか半年間で昨年1年間の数倍にもなる件数が報告されました。風しんは、ワクチン接種によって予防することのできる疾患ですが、定期の予防接種としてワクチン接種を受ける機会のなかった世代や接種する機会があっても接種していない人の多い世代が感染者の多くを占めており、改めて予防接種の重要性を認識する次第です。

また、今年6月には、「G20サミット主要国

首脳会議」が大阪で開催されます。国際政治を動かす世界の要人が一堂に会し、世界経済をはじめ、国際社会の共通課題について、幅広い議論がなされます。G20サミット開催中は、各国代表団や国内外報道機関、警備関係者など約3万人をお迎えすることが想定されており、感染症の発生予防やまん延防止対策は、「安心・安全なまち大阪・関西」を世界に発信するための重要な役割を担っております。

貴協会及び会員の皆様方におかれましても、引き続き、御協力いただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪市健康局
生活衛生担当部長

川 人 優

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのことと、心より喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、日頃より防疫に関する相談事業など社会貢献に取り組まれ、御努力されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

近年、毎年のように地震や台風等による大規模な災害が全国各地で発生しております。昨年6月には大阪府北部地震が発生し、9月には台風第21号が近畿地方に上陸したことにより、大規模な断水、停電、ガスの供給停止、鉄道の運休等、我々の生活に身近なライフラインに大きな影響を及ぼし、災害に対する備えの重要性を再認識する年となりました。

貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や経験は、これら地震や台風等の危機管理事象に対応しうる心強いスキルであり、今後ますます重要となる危機管理の分野において、専門的な見地から地域を支え、緊急時における住民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、公衆衛生の向上に寄与いただくことと期待申し上げます。

さて、昨年11月に2025日本万国博覧会が大阪で行われることが決定しました。皆様方には、大阪への万博誘致の実現に向けて、多数の御支援、御協力を承り厚くお礼申し上げます。2025日本万国博覧会の成功には、会場周辺の方々をはじめ、オール大阪・オール関西一丸となって、国内外から来訪されるお客さまをあたたくお迎えすることが不可欠です。引き続き、皆様方の御理解・御協力をお願いいたします。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



堺市健康福祉局
健康部長

池之内 寛 一

新年あけましておめでとうございます。

久多里理事長をはじめ一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、2019年の新春を健やかに迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は、本市保健衛生行政の推進に格別のご支援、ご協力を承り、厚くお礼申し上げます。

近年、毎年のように大規模災害が発生しております。7月の「大阪北部地震」、9月の「北海道胆振東部地震」は、甚大な被害をもたらしました。また、近畿地方を襲った台風21号では関西国際空港が一時壊滅的な状況に陥り、また住居等への被害も大きく、未だにその影響が残っています。改めて市民の安全・安心に向けての取り組みの大切さを認識したところです。

本市では昨年11月、一般社団法人大阪府ペストコントロール協会と防疫業務に関する協定を締結するなど、災害時における、より迅速かつ効果的な防疫体制の整備を進めております。

さて、本市は市民が元気に長生きできるよう死亡原因の第1位であるがん対策に積極的に取り組んでおります。

平成29年には、受診勧奨や検診案内だけでなく、検診予約、がん患者やその家族等への相談支援の機能を持つ「がん検診総合相談センター」を設置しました。また、昨年4月からの2年間を「がん検診受診促進強化期間」と位置づけ、がんの早期発見を促進するために、5つのがん検診の無償化を実施しております。この無償化を契機に、一人でも多くの方に検診を受診していただき、がんによる死亡者を減らすなど、市民の命を守って参ります。

貴協会におかれましては、防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を培われていることと存じます。これらを活用していただき、緊急時における住民の安全・安心の確保にご尽力いただく等、今後とも本市の保健衛生行政の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝、そして、本年が皆様にとりまして健康で幸多い一年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

島岡 正之

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、西日本での平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震など大規模災害が全国各地で発生しました。大阪府下でも、大阪府北部地震や台風21号による停電や家屋等への被害が発生しております。本市におきましても、頻発する異常気象による、これまでに経験したことの無いレベルの災害が起こった場合、保健衛生部局として迅速な対応ができるよう、危機管理部局との連携の強化など災害への対策を進めているところです。

さて、今年はラグビーワールドカップが日本で開催され、全国各地で試合が行われます。本市では、東大阪市花園ラグビー場で4試合が行われる予定です。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピック、2021年にはワールドマスターズゲームの関西での開催など、国内外でヒトやモノの動きが益々活発になることで、感染症や外来生物の侵入等のリスク増加が懸念されます。蚊媒介性感染症については、継続的な蚊の生息調査やウイルスの保有状況検査を行い、蚊の防除体制の整備・強化を図ることにより、市民や本市を訪れる方々が安心安全に過ごすことができるよう進めていく所存です。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫・公衆衛生の知識や技術を遺憾なく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

西田 誠

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、長年にわたり感染症の予防及び公衆衛生の向上のための社会貢献に取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。

去年は大阪府北部を震源とする地震や台風21号等により、本市でも多くの市民の皆様が被災されました。被災者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

なかでも、6月18日に発生した地震では、多くの人的及び住宅等の被害が発生し、市民生活に大きな影響が生じました。高槻市では、地震発生後直ちに災害対策本部を設置し、市一丸となって災害対応に当たってまいりました。

健康福祉部門におきましても、災害時要援護者の安否確認を行い、災害ボランティアセンターを開設するとともに、保健師等が避難所を巡回し、避難者の健康管理支援や避難所の衛生状態の保持に努めるなど、被災者からの様々なニーズに対応し、福祉と医療の両面から支援してきたところです。

今後発生が想定される南海トラフ巨大地震などの大災害時においても、環境衛生の確保や感染症の予防が大きな課題となりますが、貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術は、これら災害に対応しうる貴重なスキルであると存じます。

貴協会におかれましては、今後とも災害等の緊急時における住民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ



豊中市健康福祉部長

大 東 幹 彦

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震など大規模な地震が発生し、一方では、大型台風が相次ぎ日本列島を縦断するという、自然災害によって日本全体が甚大な被害を受けた一年となりました。

本市においても、地震と台風による相次ぐ被害を受け、避難所の開設、罹災ごみの収集、被害家屋の消毒等の対応を行いました。災害時の感染症発生を予防するため、環境衛生対策が必要不可欠なことを再認識したところでございます。

さて、近年、訪日外国人数と出国日本人数の合計は4,600万人を突破し、今後ますます増加することが予想されております。日本と海外との垣根がなくなっていく中、日本国内での新たな感染症による感染リスクの増大や外来生物の日本への侵入などに対応するため、危機管理体制の充実はますます重要となっております。

そのようななか、本市では、「未来につなぐ創る改革～人と地域が活きるまちづくり～」を基本理念に掲げており、「安全安心・健康先進都市 とよなか」をめざして、市民の皆様一人ひとりの生活の充実向上にむけ、日々全力で取り組んでおります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ



枚方市健康部長

山 崎 宏

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年6月に大阪府北部地震、7月に西日本豪雨、9月に台風21号と、暴風雨による河川の氾濫や土砂災害、建物損壊、停電、断水など、甚大な被害をもたらした大規模災害が発生しました。本市においても、大阪府北部地震と台風21号発災時には災害対策本部を設置し、速やかな避難所の設置や被災者への支援活動等を実施してまいりましたが、災害対応での教訓と解決すべき課題を再認識する契機にもなりました。

本市では昨年7月に「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を策定しました。更なる規模の災害にいち早く対応し、全ての災害医療関係機関が連携し、組織的かつ効果的に機能する災害医療体制を構築し、市民の理解と協力により、一体となった医療救護活動を円滑に実施していく体制整備に努めております。今後も災害医療に更なる充実を図り、市民の安全・安心を確保するため、様々な保健衛生施策の充実に取り組んでまいりたいと考えております。

災害時には、医療救護活動に加えて、公衆衛生の確保のためには、防疫活動や衛生管理体制の整備が重要です。また、貯水槽の破損による水道水の汚染や災害廃棄物や土地浸水に起因する害虫の発生などへの対応も欠かせません。

貴協会におかれましては、災害に関してもこれまで培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ



八尾市
健康まちづくり部長

西田 一 明

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、本市は市制70周年を迎えるとともに、この節目の年に「中核市やお」として新たな一歩を踏み出しました。

また、これまで地域とともに取り組んできた健康づくりの一層の推進を図るため、今般「八尾市健康まちづくり宣言」を策定し、健康コミュニティの構築を目指して市民とともに取り組んでいるところであります。

中核市移行に伴い、公衆衛生の拠点として新たに設置した市保健所の権限・機能等も活用しながら健康を支え守る地域社会の実現を目指す所存であります。

さて、一昨年から特定外来生物であるヒアリが大きな社会問題となっております。昨年5月、本市内の住宅において、ヒアリが確認されました。幸いにも、発見されたヒアリが死骸であることと発見時の状況から、特に問題はありませんでした。

現在、外国から輸入する際のコンテナ等にヒアリが生息している可能性もあることから、いつ侵入されてもおかしくない状況にあると言えます。

今後、本市としても、市民の安心安全を確保するため、関係機関と連携し適切に対処してまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、70年以上にわたり培ってこられた防疫、環境衛生対策等に関する知識、経験等をお役立ていただき、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山西 弘 一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当財団のワクチン事業に対し格別のご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は多くの災害が発生した年でした。6月には大阪府北部を震源とする大阪北部地震が発生し、多くの方が不自由な生活を強いられたことと存じます。9月には台風21号が近畿地方を襲い暴風や豪雨により大きな被害をもたらしました。また北海道胆振東部地震が発生、災害対策が進んだわが国においても更なる課題が浮き彫りとなりました。被害者の皆様には、いち早い復旧と日常の生活を取り戻していただけますよう心より願っております。

一方、感染症においても、4月に麻疹、8月には首都圏を中心に風疹の流行が発生しました。風疹は妊娠初期に感染するとお子さんが障害を持って生まれてくる可能性がある、まさに次世代に影響を与える感染症です。

当財団は1934年の創設以降、ワクチン開発、生産供給ならびに、優れた臨床検査サービスを提供し公衆衛生に貢献してまいりました。この度の麻疹、風疹流行の際は、麻しん風しん混合ワクチン（MR）の供給を通じ、その流行阻止に尽力してまいりました。また、水痘、インフルエンザ、日本脳炎等のワクチンでも安定供給に努めるとともに、昨年よりDPTワクチンの供給を再開するなど、わが国の感染症対策への更なる貢献に向け取り組んでおります。

当財団は一昨年、ワクチン供給ニーズに力強く応えていくため「株式会社BIKEN」を設立しました。平成最後となる本年はBIKENグループとして更なる飛躍を目指すとともに、ワクチン生産基盤の強化と安定供給に尽力してまいります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。